



謹んで新年のお祝いを申し上げます。

令和になって初めての新年を迎えました。新たな時代を迎え、三原市が良い方向に変わって来たなど感じられるよう、本年も一所懸命に頑張ってお参りますので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。今回は、12月の定例議会の概要をみなさまにご報告致します。

1. 三原市長期総合計画（後期）案への提言

前号でも述べましたが、人口減少が加速する中、来年度から新たにスタートする5カ年の本市長期総合計画（後期）は極めて重要です。今回、議員全員協議会で策定案の説明がありましたが、これまでの私の指摘が反映されている面とそうでないところがあり、さらに見直しを要望しました。大きな問題は、本市の**目指すべき姿が不明瞭**であるため、**政策がボケ、成果が見えにくい事**にあります。

また、行政の意識改革も必要で、これまでの**「行政運営」から「自治体経営」への転換**も必要です。

2. 12月定例議会一般質問で問う



12月の定例議会の一般質問は、(1)本市に寄贈いただいた「宇宙メダカ」の学校教育とシティセールスへの活用について、(2)ペアシティ三原西館活性化の方策について、提案を行いました。

以下に、一般質問の概要を示します。

(1) 「宇宙メダカ」の学校教育とシティセールス*への活用について

*シティセールス：三原の魅力を外部に発信し、活性化を図ること

宇宙メダカ：1994年に向井千秋さんと4匹の選抜されたメダカが宇宙に行き、宇宙でふ化したメダカの子孫のことです。

- 【質問】①本市の公立小中学校の学力水準は県内でどの位のレベルか。
②寄贈された「宇宙メダカ」を、教育資材としてどのように活用していくのか。
③寄贈を機に、本市に宇宙メダカ研究会全国大会を誘致してはどうか。
④市庁舎玄関ロビーで飼育し、広く市民の方々に見てもらう取り組みをしてはどうか。

- 【答弁】①全国学力・学習状況調査では、小6は県平均レベル、中3は県平均を下回っている。
②木原小、幸崎中で飼育が始まった。実践の経過を把握しながら活用を検討していく。
③現在、宇宙メダカ研究会関西支部と情報を取りながら調整を図っている。
④市庁舎玄関ロビーへの設置は他の要望もあり、また生物の維持管理は現状では難しい。

※ 本市の人口減少が加速する中で、子育て世代を呼び込む有効な対策は**学力レベルの向上**です。残念ながら**本市の学力レベルは高いとは言えず**、いかに上げていくかが重要な課題です。今回、宇宙メダカ研究会より「宇宙メダカ」をいただきましたが、児童生徒の好奇心や探求心育成に活用できれば、学力レベル向上の一助になると思っておりますが…。教育委員会に期待します!!

(2) ペアシティ三原西館活性化の方策について

- 【質問】①西館へ幅広い世代が来てもらうために、入居予定の老人大学の名称を変更してはどうか。
②西館には老人大学と児童館が同居するが、シニアと子ども達が触れ合える場や企画の提供をしてはどうか。
③1階への民間テナントの誘致は、どのような条件で行っているのか。

- 【答弁】①移転を機に、来年度からの大学運営の見直しを行っており、名称変更も検討中である。
②世代間交流は双方に有益であり、関係者と協議しながら連携を検討していきたい。
③特に条件は無いが、にぎわい創出につながる民間提案も含めてテナントを募集していく。

※ 西館のコンセプト*は「**幅広い世代の市民が活躍する場**」です。幅広い世代の市民が訪れるようにするためには、東館エリアと合わせて、どういう使い方をしていくのかまで考えた活用方法と市民が求めるテナントの募集が必要です。作りっぱなしにせず、エリア経営の考え方が必要です。

*コンセプト：基本的な考え方

3. トピックス

◆ 三原看護専門学校の入学生募集の停止

三原市と三原市医師会が共同出資して一般財団法人三原看護師養成事業団を設立し、平成5年4月に開校した三原看護専門学校（昼間定時制）が、近年数年間の入学生数の大幅な減少により赤字運営となっており、令和3年度からの入学生募集を停止することになりました。今後の看護師ニーズは高いことから、看護師養成のあり方について医師会等で継続協議される予定です。

◆ 本郷町南方への産業廃棄物処理施設設置許可申請について

ジェイ・イー・ビー協同組合が本郷町南方観音平に計画している安定型産業廃棄物最終処分場の建設について、広島県に申請した設置許可申請の書類審査と現場検査が終了し、告示・縦覧となりました。これからR2年1/29まで利害関係を有する住民等の意見書提出が可能となります。その後、有識者の意見聴取により許可・不許可が決まる予定です。

4. 活動報告 & お知らせ

(1) 経済建設委員会で、群馬県安中市と新潟県村上市を視察

11/13～15に、経済建設委員会で安中市と村上市の視察に行ってきました。特に村上市は、住民の黒壁1枚千円運動から景観整備が始まった街で、昔ながらの景観を再現しています。西国街道の整備にも参考になります。行政に頼らず、地域の仲間で動き始めることが重要です。



(村上市の黒壁通り)

(2) 市民と議会の意見交換会で本市の観光振興の現状を説明

11/20に、経済建設委員会主催の市民との意見交換会が開催され、私が出した本市の観光振興の現状と課題を説明した後、中心市街地に観光客を呼び込む方策について、関係団体と意見交換を行いました。今回をスタートとして関係団体と具体策を協議していく予定です。



(観光振興の現状と課題の説明風景)

(3) 佐木島地域ビジョン策定のためのワークショップ参加

11/21と12/10に、島民の約1/10が集まって、佐木島の地域ビジョン策定のためのワークショップ*が開催されました。数十年後は危機的状況が予想され、今から何をすべきかなど課題を出し合いました。この結果を基に、地域ビジョン策定に入ります。

*ワークショップ：研究集会



(ワークショップ風景)

5. あとがき

新しい年がスタートしました。人口減少が加速する本市の将来は、これからの10年で決まってくると言っても過言ではありません。私は、①人口減少の抑制と、②市民満足度の向上の2つが中心となる政策と施策を打ち出していくべきと考えています。現在、見直し作業中の長期総合計画（後期5年間）の内容について引き続き注目していきます。



田中ひろき後援会

田中裕規

◇ プロフィール

- 1959年8月9日生
- 東京農工大学工学部大学院卒
- 元帝人㈱社員

<連絡先>

三原市港町三丁目16番13号

携帯: 090-7137-0440

FAX: 0848-64-8911

<https://www.tanakahiroki.info/>

<発行責任者> 武郷勝巳

<市民のみなさまからのご意見・ご要望をお待ちしています!!>

- 駅前の賑わい創生のためのアイデアについて
- いま困っていること
- 三原の将来について、してほしいこと
- 行政や関係団体などの課題について

E-mail: h.tanaka1@kem.biglobe.ne.jp

等